

「沖縄を元気にする農業ブランド」
“農商工連携具現化プロジェクト”第1回
活動報告

日 時：平成22年8月27日（金） 13：00～17：00
会 場：沖縄市民会館 中ホール
参加者：15名
講 師：大塚 洋一郎 氏
（特定非営利活動法人 農商工連携サポートセンター代表理事）
コーディネーター：近藤 正隆 氏
（特定非営利活動法人ウヤギー沖縄 理事長）

平成22年8月27日(金)、沖縄市民会館中ホールにて“農商工連携具現化プロジェクト”の第1回を開催しました。今回は特定非営利活動法人 農商工連携サポートセンター代表理事 大塚洋一郎 氏を講師に迎え、これまでのセミナーに参加いただいた方の中から、農商工連携で具体的にブランド作りを考えている方で、大塚先生を中心とした計 4 回のプロジェクトに参加できる方を対象としており、事前にアンケートなどで選出された15名の方に参加いただきました。



---セミナーの様子---

大塚氏は農商工連携の目的と大まかな枠組みについて説明を行った後に、酒、菓子、野菜加工、高機能食品など、実際の連携で行われている中心的な戦略的マッチング事例を詳細にわたって紹介しました。さらに成功事例として、年間を通して60品目の野菜を無農薬有機栽培で生産し、地産地消型のベジタブルデリを運営している「ビオファームまつき」の松木一浩氏と、40代半ばで新規就農、東京から限界集落へ移住しキノコの生産で地域の活性化へ貢献している「キノコハウス」の佐藤時男氏・昭子氏夫妻の事例を紹介、それぞれの「SWOT分析」を詳細にわたって解説しました。次回のプロジェクトは参加者が実際にSWOT分析を行い、事業の客観的な評価と予測を行う予定です。